

あけましておめでとうございます

後援企業・団体会員

(有) アーク工業所	(有) 高浜印刷	(有) マツジョウ
クリエイティブプロダクションアドス	田村電器(有)	(株) 松文オブテック
(有) 天野板金工作所	(有) 司建設	松本金物建材店
伊藤忠エクスホームライフ中国(株)	(株) パタカラ(本社)	松本商店
(有) お茶の三幸園	(有) 中村茶舗	三浦工業(株) 松江営業所
(株) 神谷鉄筋	日交整備(株)	やすぎ節屋
(有) 木佐設計	日清医療食品(株)	安島工業(株)
岸本建築	(有) はらぶん	山中量店
岸本農園	平田生花店	(株) ユニコン
(株) 建築技術センター	(株) 福田本店	(株) 吉谷
クミアイ石油(有)	双葉タクシー(株)	米子ガス産業(株)
(有) 光洋石油	ホームパービギナー	和幸電通(株)
山陰カードビジネス マリンピア美保	ポーディングやどや	和幸冷温(株)
山陰合同銀行島大前支店	ホテル白鳥	ワタキューセイモア(株) 米子営業所
島根電工(株)	前島工業(株)	大國ペーカリー
(有) 親共鉄工所	松浦書店	
新和設備工業(株)	松江工業OB会	
大昌(株)	松江土建(株)	
住商アイナックス(株) 中国支店	(有) 松江パッケージセンター	



Support News

後援会便り

社会福祉法人 千鳥福祉会

〒690-0814 松江市東持田町1415
TEL.0852-24-8820 FAX.0852-24-8825
ホームページ: <http://www.9ocn.ne.jp/~chidori>
メールアドレス: chidorifukushikai@luck.ocn.ne.jp

2009年1月15日 No.15

私の「だんだん」



千鳥福祉会後援会 会長
稲塚 公郎
(松江土建株式会社取締役会長)

明けましておめでとうございます。新春のお慶びを申し上げますと共に、昨年中もいろいろと後援会の運営にご協力をお寄せいただき、誠にありがとうございます。

さて、現在放送中のNHK朝ドラ「だんだん」が人気のようですが、松江はその宣伝効果のお陰で、県外からの観光客が増加して観光産業が潤っているようです。何はともあれ、離別した双子のめぐみさん、のぞみさん二人の出会いと活躍のドラマを楽しみながら、地域が活性化することは嬉しいことでもあります。

そのタイトルの「だんだん」という言葉と私の出会いは、随分古い話ですが、昭和17年父の県外からの転勤で一家が松江に住み着き、早速母が買い物に出掛け「何処で何を買っても帰りがけに必ずだんだん、だんだんとお辞儀されるが一体どんな意味ですか」と父に尋ねて聞いたのを耳にした時であります。私はその時5才でした。以来現在も松江の住人ですが、私自身がこの方言を聞く機会は多々あっても使ったことは殆どありません。しかしこの言葉の持つ独特の雰囲気はとてほおろしです。ゆったりとした、柔らかい響き、優しさが込められていて、「おんぼら」とした寛ぎを感じます。方言特有の伝統や歴史



を感じます。むかし、京都の伝統と格式を重んじる遊廓で「ありがとう」の意味で使われていた様で、中心地の流行言葉が長い時間かけ地方へ伝わり現在も愛媛、福岡、熊本で残っているようです。方言は当地方の独自性を表す地域文化の一つであり、地域の活力を見出す時代に軽視されて消滅されるべき物ではなく、伝えていくべき物であるように感じます。

ところで人生長く生きていくと「だんだん、だんだん」と感謝する事柄に沢山出会って来ます。仕事上で失敗が続いても最後は物事が上手く行って感謝、お客様に褒められて感激し更に成績が上がり感謝、運転中に間一髪重大事に遭わなくて感謝、会社が今期も何とか黒字決算が出来て感謝、と毎日感謝しながら生きて行くことの大切さを噛み締めています。

厳しい時代の中で71歳まで元気で勤めさせて頂いた事に感謝し、忍耐や我慢と「だんだん」で今年も頑張ろうと思います。皆様にとりまして希望に満ちた佳き年でありますように。

あけましておめでとうございます

後援会に入会しました。よろしくお祈りします。

新建材・住設機器・内外装工事・塗料・接着剤・建築用CADシステム



株式会社ユニコン
本社/〒690松江市東朝日町29 ☎(0852)24-1616代

お知らせ

今回は5月の発行になります。テーマは「次世代エネルギー」どんな視点からでも結構ですので、皆さんからの原稿をお待ちいたしております。



今年もあちこち撮影に出かけましたが、一番厳しかったのは、大山滝の撮影でした。

目的地まで到達するまでは距離がかなり有ると、鳥取地震で川づたいの道がふさがれ通行禁止に成って居りアップダウン連続の山道を重たい撮影機材を担いで滝壺まで行き撮影したのが忘れられない思い出になりました。滝壺付近で二人の御老体らしき登山者に合い色々話をしたら、二人とも兵庫県龍野市から来られた80歳に成れる写真家のお爺さんたちでした。この人達の行動を見ていたら、年齢を重ねてもまだまだへこたれてはいけなかつつおもしろいと思えました。人間好きなことは何歳に成っても続けられるものだと思う今日このごろです。

多久和宏朋

謹んで新年のごあいさつを申し上げます。千鳥福祉会 理事長 山本昌子

千鳥福祉会が後援会を組織してから9年目に入りました。会員の皆様には、永きに渡って支えていただいていることに先ずもってお礼を申し上げます。

人様のお世話になってこそ成り立つこの事業で、何とか新しい年を迎えることができますのもひとえに皆様の「ご支援があってこそ」と心から感謝いたしております。それこそこの新年号のテーマ「だんだん」です。

昨年のように、今年も世の中の変動が激しくクライシスな状況が襲ってくるかもしれませんが、気持ちで負けないことが大切です。人は考えたように行動するもの、笑顔を忘れず、何があってもプロセスと考え職員一同、そして後援会の皆様と心をつなげて「一歩前」と努力を重ねたいと思います。

どうか、今年も変わりませず宜しくお願いいたします。
そして、皆様のご健康とご多幸を心からお祈り申し上げます。

2009.1.15

私の「だんだん」



千鳥福祉会後援会 副会長
伊藤 立身
(和幸電通株式会社常務取締役)

千鳥福祉会並びに後援会の皆様には、平成21年の新しい年を目度くお迎えに成られた事とお慶びを申し上げます。今年も皆様にとって素晴らしい良い年に成りますよう、心からお祈り申し上げます。

NHKドラマの「だんだん」が放送されています。松江を中心としたドラマ化は少なく且つ全国版という事もあり、地元で居る私達は勿論の事ですが全国に居られる松江に関わりの有る方々も、ドラマの内容に感動し、出雲弁の一言一言にも、色々な想いを馳せつつ感慨深いものがあるものと思われま。

その出雲弁の「だんだん(ありがとう)」に付いて書いてみました。私は、出雲弁の本場で生を受け、高校時代迄過ごしました。日常生活の中の大人同士の挨拶(会話)は、「ほんじまして! べった・べった、だんだん!」
※訳すと「夕方になり暗くなりましたね! いつも・いつもありがとうございます。」

等々、生(なま)の出雲弁が飛び交い、心の通う、温か味の有る会話だった様に思い出されます。流石に今は、「ほんじまして!」べった・べった!」の言葉は使わなく成りましたが、「だんだん」は、今の日常

会話でも無意識の内に良く使っています。また、私の孫も「綺音、3歳」「麗奈、4歳」に成りました。保育所に預け、先生を始めとして多くの園児達に囲まれ揉まれて居ります。その園内での挨拶も、今では「おはようございます」「いただきます」「ありがとうございます」「さようなら」等々の最低限の言葉で会話をして居ると聞きます。日常会話でも、繋がりのある会話が少しずつ出来る様に成りつつあり、時に、「じーじ、ありがとう?」と逆に注意される事もあり、驚きと共に、孫の成長に目を細めている今日この頃です。今はまだ、「だんだん」の言葉は教えて居ませんが、その時期が到来すれば、温か味の有る言葉である「だんだん」を教えてやりたいと思っています。

3歳、4歳の時期は、三つ子の魂百まで!と言われる様に、幼少の頃の性格は生涯変わらないと言われます。また、その時期の言葉も色々吸収し、何時までも忘れず覚えて居ると思われます。我が家の挨拶(言葉)でも、何かをして貰った時は「ありがとう」、外出時は「いってらっしゃい」、帰宅した時は「おかえり」、自分が悪い事をした時は「ごめんなさい」の言葉が素直に言える様に教えています。

世の中には、自分の非に謝罪をせず、「ごめんなさいすみませんでした」の言葉さえ言えず、自分の正当性のみを主張する人が多くなって来ている昨今、我が家の大人も含め、孫にも他人に対する思いやりの有る心を持ち続け、素直な明るい子に育てたいと思っております。

終わりに、今年もおかげ様で、皆様方と共に「新しい年」を迎えさせて頂きました。人様から何かをして頂いた時には、「だんだん(ありがとうございます)」自分に非があれば、「ごめんなさい(申し訳ありません)」と常に素直な気持ちになれる人間と成り、嘘・偽りの無い気持ちを持ちつつ、人と人の関わり合いを育み続ける事により、新年を迎えた今、人間関係と信頼関係を更に良いものにし、「商売繁盛」「家庭平和」となるよう頑張りたいと思います。

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

今年は丑年、これだけ激しい変動の時には、ゆっくり、あせってもうまいかめ、じっくりそして止まらず粘り強く歩めということらしい。そして、周りの人に「だんだん だんだん」と感謝しながら・・・。ということで今年の新年号のテーマは「私のだんだん」としてみました。

あ～こんなに温かい・・・なんてほのぼのと・・・この企画はヒットでしたね～♪



だんだん

千鳥福祉会後援会 副会長
長嶺 幸恵

明けましておめでとうございます。今年も宜しくお願ひ致します。昨年は世界中が未曾有の不景気に突入し、明るい未来は期待できずもない不安な年明けとなりました。

せめて何かひとつでも楽しいことはないかと思っていたところ、昨年からは始まったNHKの朝ドラ「だんだん」を見ること。

松江が舞台だということで、今度は絶対に見なくては、と初回から見逃すことなく見えています。

改めて故郷松江の景色の美しいこと、自分たちもあのような出雲弁を使っているのかな、あんなに「だんだん」と言っているのかな、とか、最近ではドラマの中に流れるザ・ピーナッツの懐メロをいっしょに歌い、自分の歌声に酔ってしまうほどです。

先日、ふと自分が発している言葉に「何しちょうかね」「早ことせんといけんかね」「わかちょうわね」など、知らず知らずのうちに使っていたのです。また、帰り際に「今日はもう帰るけん、だんだん」と言っていたのです。物を頂いた時は勿論、何かしてもらった、心配してもらった時には言っているのです。

ある本の中で、「「ありがとう」は奇跡の言葉である。口に出せば元気が出る、耳に入れば勇気がわく。」とありました。

各々の場、人に応じて「だんだん」「ありがとう」と大いに発していきたいものです。

今年もサマーフェスタ楽しみにしています。



千鳥福祉会後援会 監事
岩崎 光春

(クリエイティブプロダクションアドス代表取締役)

明けましておめでとうございます。

今年はみなさんの力で、日本を素敵な日本に変えましょう！

さて、私の出身地は静岡市。米子に来て20年以上が経ちました。今では純粋な米子の人より米子人をしてしています。

実は静岡に住んでいたころ友達と山陰を車で旅行することになり山口から～日本海へと旅行をした時の話をちょっと。

若い頃の計画で宿も予約せず、困れば車に寝ればという安易な考え。今のようなワゴン車などもなく（年令が分かっちゃいますね！）、そう、トヨタのカローラでしたね。秋吉台から萩へ行きそれまでは車中泊でしたが若いとは言え寝る現象を目の当たりにして、民宿にいきなりの宿泊交渉。やはり、いきなりということで民宿は満室。諦めかけていたところ、民宿の方が自分の家で良ければ泊まりませんか？の声に、二つ返事で甘えることになりました。自宅から食事からお風呂までいただき、こたつの中で、地元の話をするのもできました。「だんだん」ってどういう意味が分かる？日本の言葉は濁点がつくと少しきつく感じますが、「だんだん」は強さよりも温かさを感じていましたが、もちろん意味は分かりません。「だんだん」は「ありがとう」という意味だということを知った時、自分達が置かれていたその状況こそが「だんだん」に包まれている瞬間であったことを残念ながらその時は気づきませんでした。と言うのも、車の調子が悪く民宿に辿り着いた時はすでに動かない状況だったので、明日のことを考えると、車の心配でそれどころではなかったと思います。しかし、そこでまた奇蹟が起ったのです。民宿の息子さんがトヨタの整備士で、翌日は休日にも関わらず見てくれるとのこと。今考えれば民宿オーナーの自宅に泊めていただいたこと、そして車を修理していただいたこと。その時は、ラッキー！としか思わなかったことが、あれから30年余り経った現在、この原稿を書くにあたりその時の状況を振り返り鳥肌が立っています。

山陰は恐るべし！縁結びの神様を実感した瞬間です。「心を込めて、だんだん。」今度は山陰人として、人のためになりたい！と実感している新年です。



新年明けまして
おめでとうございます

千鳥福祉会後援会 理事
佐藤 エミ子
(㈱司建設常務取締役)

皆様方には、どんなお正月をお迎えされたでしょうか・・・。私は新しい年が、社員そして家族が無事に迎えられた事にまず感謝の手を合わせました。

夜明けの澄んだ空気をいっぱい吸い込んで、大地をグルリと見渡せば、山あり、海あり、草原あり、新鮮な感動が自然に湧いてきて、これが出発地私の原点と改めて自覚しました。

今日、世の中は混乱して何故こうなったのか・・・みんなが頑張ってきたのに・・・良い悪いさえも分からなくなりました。考えても答えは見当たらず困惑して回りが見えなくなるばかりです。そこで私流の記憶の道を逆に辿ってみたところ、間近な自分の心の中に大きな「カギ」があるように思えました。

一個のミカンも兄弟で分け合い、夜なべ仕事も父を中心に和やかにはずみ、貧乏なんかへっちゃらで親の苦労も知りませんでした。

今、この時代にこそ昔に立ち返り、親や世間から学んだ、耐える心!! 夢を見ること!! 明るく笑い!! たくさんのだんだん!!を心がける事にしました。

大したことはありませんが、これ一発の名案も出ないし、子供の頃に培った日常の知恵で対抗することにします。

豊かな時代しか知らない若い人達も、先の人生で今の恐慌を思いだし、生きる糧とされることを願ってやみません!!

社員を大切に、健康一番に、できるだけ静かに社会の夜明けを待つことにします。

終わりにになりましたが、会員の皆様、どうか自分らしい良い年にされまますように心からお祈りしごあいさつと致します。



「私のだんだん」
千鳥福祉会後援会 監事

青山 まゆみ
(株式会社ピープル 代表取締役)

新年明けましておめでとうございます。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、私のだんだんですが、まさしくNHKの「だんだん」効果で全国様々な地域の方に松江の良さを再認識していただいております。

仕事の関係上、昨年も北は北海道から南は九州の方々とお話する機会がありました。殆どの方から「だんだん」見てると言われ、宍道湖や出雲弁の話になりました。

仕事の仲間達と「地球は遊び場」というテーマで踊る大捜査線と題し、海外はハワイ、グアム、国内は熊本城、沖縄などを舞台に60～70名程度のメンバーで各々10人程度のチームを作り、チーム対抗戦のゲームを毎年やっているのですが、今年は「だんだん」効果でその舞台が松江に決定しました。メンバーは東京、栃木、京都、広島、長崎等各方面からやって来ますが、松江は初めてという人達が多く、皆とても心待ちにしているのです。地元としてはその期待を裏切らぬように最高の舞台演出をしようと今からワクワクしています。

「笑う門には福来る。」今年も今ある事に感謝し人生を大いに楽しみたいと思います。

良い一年となりますように皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

新年のご挨拶を申し上げます



ワタキューセイモア
株式会社
中国支店米子営業所
所長代理
松本 和博



米子ガス産業株式会社
取締役事業部長
豊嶋 文章



千鳥福祉会後援会 理事
野津 瑞江
(㈱神谷鉄筋 常務取締役)

新年明けましておめでとうございます
去年は、経済激変の年で、私にとってもあまりいい年ではありませんでした。中でも7月28日に私の母が70歳で他界いたしましたのは、ほんとうに悲しいことでした。母親はいつまでも生きてくれるものだと思っていましたので、実際にいなくなるとみるとほんとうに寂しい気持ちです。今日はすこし母の話をしたいと思えます。

母は若いときにたいへん貧しい暮らしをしたようで、ことさら、お金には、うるさい人でした。しかし、私達3人の子供達には深い愛情をそそいでくれました。今でも時々、母の夢をみては涙がこぼれます。よく兄妹げんかをしている私達に、「世の中に3人しかいない兄弟がけんかなんかして、どうする。お前達は、親がおらんようになったら、苦労するだわ」とよく言ったものでした。

父と二人で苦労して今の会社を起すまでの昭和30年代、私が小学生ぐらいの時は、ほんとうに貧しい生活でした。生活が貧しいのははっきり覚えています。両親の愛情のせいか、貧しくても幸せだったように思います。高度成長の時代になって、やっと人並みになり、世間からも認めてもらえるようになって、これから父も母も苦労に報われるというときに、父が62歳で先立ち、母にとってはまた苦労しなければなりません。

それから10年、一人で会社を切り盛りしていましたが、忙しさに追われ、気付いた時には末期がんに冒されていて、本当に可哀相な最後でした。

父と二人で裸一貫からおこした会社と心ある社員を残してくれた母、兄弟力を合わせて助け合うことを教えてくれた母、困っている人がいたら、助けてあげるものだと言っていた母、見栄っ張りだけどお金にはシビア、肝っ玉が太くて、情に厚く家族を大切にしていた母、そんな母を私は誇りに思っています。お母ちゃん だんだん。



私のだんだん
吉岡 彰
(和幸冷温株式会社 代表取締役社長)

結婚以来、広島・川崎・長野と転々と勤務地が変わり、出張も多く、仕事・仕事で家庭のことは、妻に任せきり。この様な生活の解消と、子供の小学校入学時期でもあったこと。また、父の思っても見なかった63歳での病死により、一人となった母を見るために、16年間の家電メーカーの勤めを辞め、地元へUターンして来て、約30年近くにならんとしました。一つの目的であった母も昨年末に看護の甲斐もなく亡くなり、子供たちも成長し結婚等自立、家を出て行った現在、夫婦二人での生活となり新婚当時から今までのことを、思い帰り話題にすることも多くなった今日この頃です。

新婚時は、妻の給より少なかった私の給と、しかも仕事の付き合いで、飲み会・ゴルフとよく懲りずに遊ばれ、良く食べて行けた事だとよく言われます。

また、Uターン後は、何事もマイペースでやって来た母との嫁姑の対立は私が間に入れる余地はないほど凄まじく、母の一言一言が、何かにつけて衝突を起す結果となりました。しかし、それは見かけに於いては跡に残すことなく、対応してくれた妻、私に対してのみ色々と不満を打ち明けて、それをはげ口としてくれた事は、私にとっては最大の有難さを感じる事でありました。

さらに、母が軽い脳梗塞で耳が聞こえなくなり段々と体が動かなくなって来た時も、出来るだけ自宅での介護をと、私の気が付かないところまで種々に渡り言ってくれました。

私の兄たちが、法事等で帰省の際も多くの人数でも、いやな顔もしないで対応してくれました。

挙げれば、まだ山ほどある今までの出来事に対する苦労等々に対し妻に対し、「だんだん。ありがとう」と感謝する次第です。



「私のだんだん」
新田 喜一
(新和設備工業株式会社 取締役営業部長)

12月は年末の忙しさやクリスマス等で賑やかですが、我が家にとっては特別な月でもあります。

16日は一人娘の誕生日、23日は父親の命日です。私の娘が産まれたのが平成18年12月16日、父親が亡くなったのが平成8年12月23日ですから、二人は顔を合わせた事がありませぬ。私も娘と同じ一人っ子でしたから、父親は孫の顔を見ることなく他界したことになります。私の父親は寡黙で厳しい人でした。何かあれば鉄拳制裁の、いわゆるスバル式でした。よく周りの人から「おまえは一人っ子だから何でも我がまま聞いてもらえていいなあ」と言われましたが、とんでもなく、子供の頃は父親が家に帰って来ると一目散に自分の部屋に走って逃げた思い出があります。やがて私も青年となり男同士という事もありほとんど口をきかなくなりました。私は高校卒業後10年間島根を出て県外に居りほとんど実家にも帰りませんでした。

そして、その10年目に父が亡くなったので、その間話をしたのは僅か数時間だと思います。その分、話の内容はよく憶えています。その記憶のひとつに、ある日母が電話をしてきたついでという感じに父が受話器に代わった事があります。「おまえキャベツは料理せんでも塩かけたら生で食べるけん買って食えや」だった一言でした。ここに父と二人で写っている写真が1枚あります。私が2～3歳でしようか、父に抱っこされて、父には珍しく少し笑っているように見えます。

よく「親孝行したい時には親はいない」「子を持って初めて親の気持ちがわかる」といいますが、まさに私自身に当てはまります。

息子の健康が心配で口下手なのにキャベツの事を電話で伝える父。新車が来た記念に幼い息子と一緒に写真に納まる父。

親なら誰でもしそんな些細な光景ですが、自身が親となった今しみじみとあるべき姿を考えさせられます。

この世に生を受けた事を父に感謝し、親となった事を娘に感謝し「私のだんだん」とさせていただきます。

ありがとう、ありがとう。



「私のだんだん」
絲原 資也
(松江土建株式会社 営業部)

最近、「だんだん」という言葉をよく耳にします。NHKの朝の連続ドラマで松江が舞台になっているということで、影響が大きいのだと思いますが、本当に耳にする機会が増えました。

この間、友人と「けど、自分達の間ではだんだんとは言わんな」という話になりました。確かに、お礼などを述べる際には「ありがとう」などを用いることが多いからです。そういう意味で、私の日常会話の中では「だんだん」という言葉を使ったり、聞くことは少なくなったのかなと思います。

一方で、その言葉を私は身近に感じることもあります。3年前に他界した祖父がよくこの言葉を使っていたからです。

祖父は私にとり、少し近寄りたがい存在でした。忙しい人だったので子供の頃から一緒に遊んだりする機会は滅多にありませんでした。いつも難しい顔をして、手帳を覗んでいる印象が強く残っています。

しかし、そんな祖父も大好きな酒が入ると上機嫌になり、私が祖父のコップにビールを注ぐと顔を綻ばせて、「おー、だんだん」と言ってくれたものでした。

そして、その言葉を皮切りに近寄りたがい存在であった祖父との会話が始まり、祖父との距離がぐっと縮まるようで、とても嬉しく感じた覚えがあります。

会話の中で祖父は「だんだん」を繰り返していました。普段とのギャップもあってかその言葉は、ほどよい温かみと共に私の記憶の中に鮮明に残っています。